

鳥帰る百年ここに立つポスト

大木孝子

【評】

この句の眼目は「百年」。祖父母の代から同じ場所に立ち続け、喜怒哀楽を綴った人々の手紙やはがきを飲み込んできた不動の「ポスト」。百年の間には、戦争や天災など多くの困難があった。また、おめでたいことも。

そんな様々な事柄を見続けて来た不動のポストに対し、取合せた季語が「鳥帰る」。季節ごとに生息する場所を替えなければならない渡り鳥。

その動と静との対比が見事である。